

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことのために 手を取り合おう
RI会長テーマ

2025~2026 年度

大船渡西ロータリークラブ会報

七福人



会長 菅野 嘉洋

副会長 三田地大悟

幹事 松田 福美

=会長指針=

そして社会も磨きましょう

・・・例会記録・・・

7月第5回例会 2025年7月31日(木)

ソング : 奉仕の理想 ボックス : 13,000円 (報告者 今野義也 会員)
本日出席率 : 48.39% 前回修正後 70.97% (マーカップ 2名) (報告者 藤原太伸 会員)

★ 会長の時間 : 菅野 嘉洋 会長



DISTRICT 今日は「気仙沼サンセットクルーズに参加して」のお話をしたいと思います。27日の日曜日に気仙沼南ロータリークラブが主催しております気仙沼湾のサンセットクルーズに幹事の松田さんとともに参加してきました。

大島汽船のフェリーで内湾地区の船着場から出船し、大島を半周するような感じで気仙沼湾内を巡る大体2時間くらいのクルーズでした。

出船してすぐに気仙沼南 RC の例会が開会。例会が終わると参加した各 RC 会長からの挨拶を挟み乾杯へ。乾杯が終わると各々歓談となり、お酒、お弁当を楽しんだり、うみねことたわむれたり、気仙沼湾や大島の景色を楽しんだりと、クルージングという非日常の空間を満喫し、あっという間の2時間でした。

参加者は気仙沼南 RC を始め近隣のロータリークラブの人達、各奉仕団体の人達、そのご家族など、ざつと50人くらいはいたでしょうか、にぎやかな船内でしたが、その中で陸前高田クラブの会長である柴田さんが、中・高校生くらいの女の子を3名連れて参加しておりました。聞くと柴田さんは陸前高田市内で行われている民泊の事業に参加し受け入れ家庭に登録しているとのこと。3人の女の子達は課外授業?で訪れた東京は多摩市の中・高校生の子供たちとのことです。今日東京から2泊3日の予定で陸前高田に入り、柴田家へチェックインする前にこのクルージングへ連れてこられたとのことでしたが、都会にはない三陸の海の景色やうみねこへのえさやりなどを体験し、とても楽しんでいる様子でした。

興味があったので柴田会長に少し民泊について聞いてみました。面白いと思ったのは、受け入れた子供たちにどのような体験をさせるのは、受け入れた家庭にはほぼ委ねられているというお話をでした。なので、今回柴田さんのところに民泊するグループはクルージングに参加しているけど、他のグループは陸前高田市内を見て回ったり、あるいは草取りとかの作業を体験させられたり、と受け入れ家庭によって体験することが全く異なる。もちろん食事も受け入れ先でそれぞれだそうです。だから子供たちにとっては、受け入れ先によって当たりはずれがあるんだよ、と柴田さんは笑っておっしゃっていました。ただ、その短い時間でも受け入れると子供たちに対しそうく情がわく、子供たちが楽しんでくれると私たちもとてもうれしい気分になるんだとおっしゃっていたのが、とても印象的でした。柴田さんのところでは多いときは月に2回受け入れることもあるそうです。民泊も事業なので当然入ってくるお金もあると思いますが、これも立派な奉仕の一つだなあと思いました。

私たち西クラブにも「架け橋の翼」という子供たちの交流事業があります。コロナ禍等もありここ数年は停滞しておりますが、柴田さんが民泊をやってよかったと感じているように、得られるものは多くあるのではないかでしょうか。会員数が少なくなっている現在、受け入れるにもなかなかハードルが高くなっているとは思いますが、きっかけがあれば前向きに検討していきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

7月27日(日)気仙沼南ロータリークラブ主催のサンセットクルージング



◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

♦ 10月24日の「世界ポリオデー」に合わせ開催される
「エンドポリオデー イベント フォトンテスト2025」への参加のお願いが届いています。
対象活動期間 2024年11月～2025年10月末 応募締め切り 2025年11月15日

♦ ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナー開催の案内が届いています。

日 時 8月30日(土)9時30分受付～15時閉会

場 所 仙台育英学園宮城野校舎 登録料 1人2,000円(昼食あり)

締め切 8月20日 義務出席者 会長 R財団委員長

2 国際ソロプチミスト大船渡より認証30周年記念式典・祝賀会開催の案内が届いています。

日 時 10月17日(金) 10時～登録 場 所 大船渡プラザホテル

登録料 13,000円 締め切 9月12日

◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

フリーアワー：会員卓話

★ 濱守豊秋：ガバナーを経験して



- ・東日本大震災の復興支援に携わっていた際 江刺の菊地弘尚 PG・二戸の小野寺則夫 PG にガバナー就任の打診を受けたが、その時は復興支援で手がいっぱい無理だとお断りした。
- その 2 年後、再度お話を頂き、2016 - 17 年度のガバナーをお引き受けした。
- ・ガバナ一年度の 3 カ月前の会議で、アメリカ・サンディエゴで行われる国際会議の席で日本のガバナー夫人が踊りを披露するのが習わしだとの話がで、妻の提案で「花笠踊り」を披露し、大きな拍手を頂く。
- ・ガバナ一年度の 7 月 1 日の懇談会で、2520 地区のガバナーは「財団寄付 0 クラブ」を 0 にするようとの使命を受け、それを目標にガバナ一年度をスタート。
- これを実現するために、各クラブのどの方と話をし、どのように説得していくか、ガバナー事務所の事務局員さんからも情報を頂きながら、ガバナー公式訪問は、通常何クラブかが合同で行う事も多いが、私の年度は、クラブ単位で行うこととした。
- ・田口良一 PG・絢子夫人がご夫婦で会員となっておられる、盛岡北 RC を訪問した際、絢子会員が震災復興に一生懸命がために体調を崩されたとの話を伺い、皆のためになるには自分の体調管理が必要と再認識。
- 私は、田口さんがガバナーの時に入会し、公式訪問の際直接会員証を頂戴している。
- ・菅野多利男 PG は、お会いした際 90 才を超えておられたと思いますが、歴代の PG の中で私の事が一番好きだとおしゃって下さったことに感謝。
- ・ガバナ一年度の地区大会を 11 月に地元で開催した。
理由：アワビを皆さんにご馳走したかったから。会社の人たちが色々なアワビ料理を作ってくれ、参加者の皆さんに大喜びされ、「アワビガバナー」との名前が付いた。

年度終了のガバナー懇談会で 2520 地区の「財団寄付 0 クラブ」が 0 になったとの報告を受け
ガバナ一年度を無事終了いたしました。

クラブ会員の皆さんのご協力。特に地区幹事の門田崇会員、副幹事の錦山功会員のご協力に感謝
しています。